

レース関係資料(1959～1967)

ホンダ F-1

ホンダ F-2

ホンダ 二輪

〔ホンダは何故レースに出場するか？〕

ホンダは、レーサーで車の性能、耐久性、安全性などを極限まで追求することを、メーカーの責務と考えます。

二輪、四輪を問わずレーサーは、あくまで＜走る実験室＞です。

ホンダは、レーサーを開発する過程で、数々の技術の追求を行ない、そのすべてが、ホンダの一般市販車に生かされていきます。

＜F-1 レースについて＞

現在、欧米で数多くの自動車レースが開かれていますが、競技車両の規約、主要レースの運営は、国際連合の下部組織であるF I A（国際自動車連盟、本部パリ）のC.S.I（国際スポーツ部会）ですべて統括しています。

F I A公認の自動車競技には、フォーミュラレース（F-1、F-2など）スポーツカーレース、ラリー、ヒルクライムなどいろいろありますが、その中で最も権威ある四輪車のレースがF-1で行なわれるグランプリレースで、この内11のレースがグラン・エプループと呼ばれて、これにドライバー及びマニュファクチュアラー（メーカー）の世界選手権がかけられています。世界一流自動車メーカーの大部分は現在または過去にこのグランプリに参加しており、このレースに勝つことは、そのままメーカーの自動車技術の勝利につながるといわれております。

F-1 エンジンの気筒容積3000cc以下（過給装置付きは1500cc以下）。最低重量500Kg

F-2 年間500台の生産実績を持つエンジンで、気筒容積1300cc以上1600cc以下。最低重量420Kg

F-3 年間1000台の生産実績を持つエンジンで、気筒容積1000cc以下。シリンダー個数4個。最低重量400Kg

現在ホンダはF-1にのみ出場しておりますが、1965年まではF-1の規格は1500cc以下で、1966年まではF-2の規格は1000cc以下となっていました。

1965年メキシコGP優勝!!

ホンダF-1 (1500cc) N6-11

1965年10月24日快晴に恵まれたメキシコ市ロドリゲス・サーキットには、オルダス大統領以下6万人の大観衆がつめかけた。

レース開始20分前、スタートラインに17台が公式予選タイム順に2台ずつ整列、ポールポジションは本年度チャンピオンが決定しているクラーク、続いて一昨年度メキシコGP優勝者ガーニー、ホンダのギンサーは3番目で、2列目の左、以下ブラバム、ヒル、スペンス、バンディニーニ、スチュアート、バックナムと世界一流のドライバーが並んでいる。

各車一斉にスタート、まずクラークがトップに飛び出す。ギンサーやや遅れたが、すぐにダッシュ、スタートから1.5Km地点にある第一カーブでクラークをとらえ一瞬に抜き、ついにトップ。コースを埋めた大観衆はホンダの活躍に湧きに湧いている。

5周目ギンサーは2位のスペンスを約20mリード、以下スチュアート、ガーニー、ヒル、バンディニーニの順。7周目9位にいたクラーク調子が出ず、ついにエンジントラブルでリタイア。ギンサーのホンダはますます快調。ついに2位のスペンスとの差は200mとなり独走態勢となる。

12周目ギンサー依然トップ、続いてスペンス、ガーニーはヒルを抜いて3位。20周目にはついに2位に進出してきた。

40周目ギンサーは2位ガーニーを300mリード。以下スペンス、ヒル、シフェール、ソラナ、バックナム(ホンダ)、ボニエ アトウッドの順。56周目ギンサーは1分56秒0のラップレコードを樹立。しかし次の周にはガーニーが1分55秒8(平均速度155.4Km/h)でラップ記録を更新、猛然

とスパートしてきた。

しかしトップのギンサーは余裕十分、大観衆のドヨメキの中を2位ガーニーに3秒弱、約150mの差をつけてゴール、全コース335Kmを2時間8分32秒10、平均速度151.7Km/hで見事ホンダF-1初優勝を飾った。

なお僚友バックナムも9位から追上げ5位に入賞。

ホンダの技術水準の高さをいかんなく実証した。

<レース結果>

ロドリゲス・サーキット 1周5.12Km 65周335Km

順位	ドライバー	車名	時間	平均速度
1	リッチー・ギンサー	ホンダ	2° 8'32"10	151.7 Km/h
2	ダン・ガーニー	ブラバム	2° 8'34"99	151.643 "
3	マイク・スペンス	ロータス	2° 9'32"25	150.425 "
4	ジョー・シフェール	ブラバム	2°10'26"52	149.502 "
5	ロニー・バックナム	ホンダ	1周おくれ	149.875 "
6	リチャード・アトウッド	ロータス	"	147.059 "
B L	ダン・ガーニー	ブラバム	1'55" 8	155.4 "

◇レース脱落した主なドライバー

ジム・クラーク（ロータス）、ジャック・ブラバム（クーパー）、ジャッキー・スチュワート（BRM）、ヨッヘン・リント（クーパー）

1967年イタリアGP優勝!!

ホンダF-1 (3000cc) No-30

1967年9月10日、世界グランプリ中、最速のレースが行なわれるモントァ・サーキットは絶好のレース日和に加えて、この年のヨーロッパ・チャンピオンシップレースとあって、15万人を越える大観衆が詰めかけた。

ホンダのジョン・サーティーズはゼッケン14、4列目外側に位置し、クラーク、ブラバム、マクラレンをはじめ8台のマシンが前に整列している。

スタートは3時30分。

第一週のラップはダン・ガーニーがとる。ホンダは9位。

13周目、ハルム、ブラバム、ヒルと続き、ホンダは4位。30周まで快調に飛ばす。31周目、2位を走っていたハルムがリタイヤ、ホンダは3位にあがる。サーティーズの後には、フェラーリのクリス・エイモンが9周目からびたりとついたまま。

58周目、ヒルがコースアウト、クラークに追い上げられ、1位ブラバム、2位クラーク、3位サーティーズ。65周目、ゴールまであと3周。サーティーズはブラバムを抜き2位。

ついに最終ラップの68周目、クラークのロータス・フォードはペースが落ちた。サーティーズとブラバムの激しいデッドヒート。最終コーナー、ブラバムはオイルにのり、一瞬ハンドルをとられる。サーティーズは、ブラバムを一気に抜き、ゴールに直進。チェッカーカードフラッグが振られた。ホンダ優勝。

ホンダは、一昨年少F-1レース(1500cc)のメキシコGPに優勝したが、今度のイタリアGP優勝で新旧F-1両レースを制覇したわけで、レ

ース後ホンダF-1とサーティーズは万を越える観衆に取り囲まれ、数時間もコースに立往生するほどの圧倒的な人気だった。

今度のイタリアGP出場のホンダF-1は、エンジン、車体ともさらに軽く強力に改造を加えた新型車で、ホンダの＜走る実験室＞としてだけでなく、日本の自動車技術の優秀性を広く世界に実証した。

＜レース結果＞

モンツァ・サーキット 1周5.75Km 68周391Km

順位	ドライバー	車名	タイム	平均速度
1	ジョン・サーティーズ	ホンダ	1°43'45"	226.119Km/h (新記録)
2	ジャック・ブラバム	レプコ・ブラバム	1°43'45" 2	
3	ジム・クラーク	ロータス・フォード	1°44'08" 1	
4	ヨッヘン・リント	クーパー・マセラティ	1°44'41" 6	
5	マイク・スペンス	B.R.M	1周おくれ	
6	ジャッキー・イクス	クーパー・マセラティ	2周おくれ	
B L	ジム・クラーク	ロータス・フォード	1'28" 5	233.89 Km/h

◇ 従来の記録 平均速度218.748Km/h (1966年、フェラーリ、ドライバーはスカルフィオッティ)で、僅か1年の間に、ホンダは驚異的なスピード記録をマークした。

◇ レース脱落した主なドライバー

グラハム・ヒル(ロータス)、ジャッキー・スチュアート(BRM)、ダン・ガーニー(イーグル)、デニス・ハルム(ブラバム)

＜諸元表＞ ホンダ F-1

ホンダ F-2

F-1 1964年度 出場車

エ ン ジ ン		フ レ ー ム	
機 種 名	RA271E	機 種 名	RA271F
エンジン型式	60°V型 12気筒	ホイールベース	2300mm
内径×行程	58.1×47	トレッド(フロント)	1300mm
総排気量	1495	" (リヤ)	1350mm
点火方式	バッテリーマグネット点火	全 長	3710mm
圧 縮 比	10.5	全 高	800mm
潤滑方式	ドライサンプ	全 巾	1625mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	85mm
バルブ型式	DOHC	ボディー型式	軽合金モノコック及びパイプ連結
電 化 器	ホンダ製吸入管連続噴射式	タイヤ(前)	600L-13 (ダンロップ)
燃料ポンプ	電 動 式	" (后)	700L-13 (")
冷却方式	水 冷	燃料タンク	130ℓ
変 速 機	前進6段 後進1段	ブレーキ方式	ディスクブレーキ
最 高 出 力	220PS/12000RPM	懸架方式	ダブルウィッシュボーン
最 高 速 度	300Km/Hr	車 輛 重 量	525Kg
重量(乾燥)	209Kg		

F-1 1965年度 出場車

エ ン ジ ン		フ レ ー ム	
機 種 名	RA272E	機 種 名	RA272F
エンジン型式	60°V型 12気筒	ホイールベース	2300mm
内径×行程	58.1×47	トレッド(フロント)	1350mm
総排気量	1495cc	" (リヤ)	1370mm
点火方式	バッテリーマグネット点火	全 長	3950mm
圧 縮 比	10.5	全 高	793mm
潤 滑 方 式	ドライサンプ	全 巾	1675mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	80mm
バルブ型式	DOHC	ボディー型式	軽合金モノコック及びパイプ連結
気 化 器	ホンダ式吸入管噴射式	タイヤ(前)	5.50-13 (グッドイヤー)
燃料ポンプ	電動式	" (后)	7.00-13 (")
冷却方式	水 冷	燃料タンク	180ℓ
変 速 機	選抜駆動前進6段後進1段	ブレーキ方式	油圧ブレーキ (ガーリング製)
最 高 出 力	230PS以上/12000rpm	懸 架 方 式	ダブルウィッシュボーン
最 高 速 度	300Km/Hr以上	車 輛 重 量	498Kg
重量(乾燥)	215Kg		

F-2 1965年度 出場車

エ ン ジ ン		フ レ ー ム	
機 種 名	RA300E	機 種 名	BRABHAM
エンジン型式	直列4気筒	ホイールベース	2335mm
内径×行程	72×61.2	トレッド(フロント)	1310mm
総排気量	996cc	" (リヤ)	1330mm
点火方式	バッテリーマグネット点火	全 長	3980mm
圧 縮 比	10.5	全 高	787mm
潤滑方式	ドライサンプ	全 巾	1620mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	80mm
バルブ型式	DOHC 4バルブ/シリンダー	ボディー型式	鋼管スペースフレーム(ノビブ)
気 化 器	ホンダ式吸入管連続噴射式	タイヤ(前)	5.00-13 (グッドイヤー)
燃料ポンプ	電 動 式	" (后)	7.00-13 (")
冷却方式	水 冷	燃料タンク	80ℓ
変 速 機	進抜摺動前進6速後進1速	ブレーキ方式	ディスクブレーキ(ロッキード)
最 高 出 力	135PS以上/10000rpm	懸架方式	ダブルウィッシュボン
最 高 速 度	250Km/Hr以上	車 輛 重 量	420Kg
重量(乾燥)	145Kg(ギヤボックス含む)	ステアリング	ラックアンドピニオン

F-1 1966年度 出場車

エ ン ジ ン		フ レ ー ム	
機 種 名	RA273E	機 種 名	RA273F
エンジン型式	90°V型12気筒	ホイールベース	2510mm
内径×行程	78×52.2	トレッド(フロント)	1550mm
総排気量	2992	" (リヤ)	1486mm
点火方式	ホンダ式トランジスタ点火	全 長	3955mm
圧 縮 比	10.5	全 高	845mm
潤滑方式	ドライサンプ	全 巾	1688mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	90mm
バルブ型式	DOHC 4バルブ	ボディー型式	軽合金薄板モノコックボディー
気 化 器	ホンダ式 低圧吸入管噴射式燃料噴射装置	タイヤ(前)	9.20-15 (グッドイヤー)
燃料ポンプ	電 動 式	" (后)	11.50-15 (")
冷却方式	水 冷	燃料タンク	240ℓ
変 速 機	常時噛合前進5段後進1段	ブレーキ方式	ディスクブレーキ(カーリング)
最 高 出 力	400PS以上 4000 rpm	懸架方式	ダブルウィッシュボーン
最 高 速 度	350Km/H	車 輛 重 量	650Kg
重量(乾燥)			

(1966年及び1967年前期出場)

10.000

F-2 1966年度 出場車

エ ン ジ ン		フ レ ー ム	
機 種 名	RA302E	機 種 名	BRABHAM
エンジン型式	直列4気筒	ホイールベース	3980mm 2335mm
内径×行程	78×52	トレッド(フロント)	1270mm
総排気量	996cc	" (リヤ)	1245mm
点火方式	バッテリーマグネット点火	全 長	3580mm 3980mm
圧 縮 比	10.5	全 高	787mm
潤滑方式	ドライサンプ	全 巾	1620mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	80mm
バルブ型式	トーションバーバルブスプリング DOHC 4バルブ/シリンダー	ボディー型式	鋼管スペースフレーム
気 化 器	ホンダ式吸入管連続噴射式	タイヤ(前)	5.00-13 (グッドイヤー)
燃料ポンプ	電 動 式	" (后)	7.00-13 (")
冷却方式	水 冷	燃料タンク	80ℓ
変 速 機	逆抜摺動前進5速後進1速	ブレーキ方式	ディスクブレーキ
最 高 出 力	150PS/11000以上	懸架方式	ダブルウィッシュボーン
最 高 速 度	270Km/Hr以上	車 輛 重 量	420Kg
重量(乾燥)	145Kg (ギヤボックスを含む)	ステアリング	ラックピニオン

F-1 1967年度 出場車

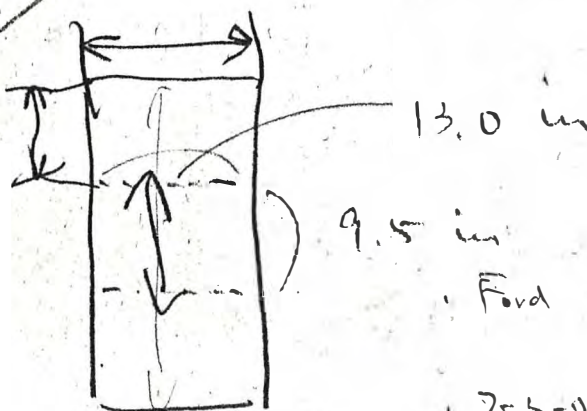
エ ン ジ ン		フ レ ー ム	
機 種 名	RA273E	機 種 名	RA300
エンジン型式	90°V型 12気筒	ホイールベース	2464mm
内径×行程	78×52.2	トレッド(フロント)	1464mm
総排気量	2992	" (リヤ)	1442mm
点火方式	ホンダ式トランジスタ点火	全 長	3955mm
圧 縮 比	10.5	全 高	845mm
潤滑方式	ドライサンプ	全 巾	1788mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	90mm
バルブ型式	DOHC 4バルブ/シリンダー	ボディー型式	前部軽合金薄板モノコックフレーム 後部鋼管スペースフレーム
気 化 器	ホンダ式 低圧吸入管噴射式燃料噴射装置	タイヤ(前)	4.75/10.30-15(ファイヤーストン)
燃料ポンプ	電 動 式	" (后)	6.00/12.30-15(")
冷却方式	水 冷	燃料タンク	200ℓ
変 速 機	常時噛合前進5段後進1段	ブレーキ方式	ディスクブレーキ
最 高 出 力	20PS以上/11500rpm	懸架方式	ダブルウィッシュボーン
最 高 速 度	350Km/Hr以上	車 輛 重 量	590kg
重量(乾燥)	200Kg		

(1967年後期出場)

2,425

ウツリハ
- 1095

鉄P
1935



1. Ford 410ps 320km/h
20kg 車に 乗車 1人
60% Ford A.T. 2202

7E5-1) 400ps
□家の受動あり
マトラ(ミサイル-X-P)+IC/
トコ-1-aおつりアリ
I-SIC(グッドイヤー) 400ps

6) 原型と基本的構造は同一で、形は大小に変わります。

420 → 450 ps
590 kg → 530 kg

F — 1

F — 2

世 界 G P 記 録

1964 年度

F - 1

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
ドイツ GP					
				1 周 2 2.8 1 0 km (1 5 周) 3 4 2.1 5 0 km	
ニュールブル クリンク				8 月 2 日	
F - 1	1	フェラーリ	J. サーティーズ	2 ⁰ 1 3 ' 0 6 " 8	
	2	B B M	G. ヒル		
	3	フェラーリ	L. バンディニ		
	4	フラバム	J. シェファード		
	5		トリンティン		
	9	ホンダ	R. バックナム	1 2 周完走	No-20
	BL	フェラーリ	J. サーティーズ	8 ' 3 9 " 4	158 km/h
ホンダ F-1 初参加					
イタリア GP					
				1 周 5.7 5 km (7 8 周) 4 4 8.5 km	
モンシア				9 月 6 日	
F - 1	1	フェラーリ	J. サーティーズ	2 ⁰ 1 0 ' 5 1 " 8	203.634 km/h
	2	クーバー	B. マクラレン	2 ⁰ 1 1 ' 5 7 " 8	
	3	フェラーリ	L. バンディニ	1 周遅れ	
	4	B R M	R. ギンサー	1 周遅れ	
	5	B R M	アイルランド		
		ホンダ	R. バックナム	1 4 周でリタイア	No-28
アメリカ GP					
				1 周 3.6 8 km (1 1 0 周) 4 0 4.8 km	
ワトキンズ、グレン				1 0 月 4 日	
F - 1	1	B R M	G. ヒル	2 ⁰ 1 6 ' 3 8 " 0	178.6 km/h
	2	フェラーリ	J. サーティーズ		
	3	フラバム	J. シェファード		
	4	B R M	R. ギンサー		
	5	ロータス	ハンセン		
	BL	ロータス	J. クラーク	1 ' 1 2 " 7	182 km/h
		ホンダ	R. バックナム	5 1 周でリタイア	No-25
ホンダこの他のレースには不出場					

1965年度

F-1

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
① 南アフリカGP					1月1日
イースト・ロンドン					
ホンダ出場せず					
② モナコ GP					1周3.145km(100周)314.5km 5月30日
モンテ・カルコ					
F 1	1	B R M	G. ヒル	2'03"7'39"6	119.637 km/h
	2	フェラーリ	L. バンデーニ	2'03"8'43"6	
	3	B R M	J. スチュアート	2'03"9'21"5	
	4	フェラーリ	J. サーティーズ	1 周 遅れ	
	5	クーパー・コヴェントリー	B. マクラレン	2 周 遅れ	
	6	ブラバム-BRM	J. シフェール	2 周 遅れ	
		ホンダ	R. ギンサー	2 周でリタイア	No-20
		ホンダ	R. バックナム	34 周でリタイア	No-19
③ ベルギー GP					1周14.12km(32周)415.2km 6月13日
フランコルシャン					
F 1	1	ロータス	J. クラーク	2'02"3'34"8	188.550 km/h
	2	B R M	J. スチュアート	2'02"4'19"6	187.574 "
	3	クーパー	B. マクラレン	1 周 遅れ	
	4	ブラバム	J. ブラバム	1 周 遅れ	
	5	B R M	G. ヒル	1 周 遅れ	
	6	ホンダ	R. ギンサー	1 周 遅れ	No-10
		ホンダ	R. バックナム	6 周でリタイア	No-11

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
④ フランス G P					
クレルモン・フェラン				1 周 8.055 km (40 周)	32.22 km
				6 月 27 日	
F-1	1	ロータス	J. クラーク	2' 01.4" 28" 4	143.580 km/h
	2	B R M	J. スチュワート	2' 01.5" 04" 7	143.110 "
	3	フェラーリ	J. サーティーズ	2' 01.7" 11" 9	140.900 "
	4	ブラバム	D. ハルム	2' 01.7" 31" 5	140.570 "
	5	B R M	G. ヒル	1 周 遅れ	
	6	ブラバム	J. シェファード	1 周 遅れ	
		ホンダ	R. ギンサー	10 周でリタイア	No-26
		ホンダ	R. バックナム	4 周でリタイア	No-28
	BL	ロータス	J. クラーク	3' 18" 9	145.791 " (新記録)
⑤ イギリス G P					
シルバーストーン				1 周 4.815 km (80 周)	376.85 km
				7 月 10 日	
F-1	1	ロータス	J. クラーク	2' 05.2" 5" 4	180.3 km/h
	2	B R M	G. ヒル	2' 05.2" 8" 6	180.2 "
	3	フェラーリ	J. サーティーズ	2' 05.5" 3" 0	179.62 "
	4	ロータス	M. スペンス	2' 06.0" 5" 0	179.33 "
	5	B R M	J. スチュワート	2' 06.4" 0" 0	178.51 "
	6	ブラバム	D. ガーニー	1 周 遅れ	
		ホンダ	R. ギンサー	26 周でリタイア	No-11
	BL	B R M	G. ヒル	1' 32" 2	183.92 "
⑥ オランダ G P					
ザンドボード				1 周 4.193 km (80 周)	335.44 km
				7 月 18 日	
F-1	1	ロータス	J. クラーク	2' 03.5" 9" 1	162.326 km/h
	2	B R M	J. スチュワート	2' 04.0" 7" 1	162.156 "
	3	ブラバム	D. ガーニー	2' 04.1" 2" 1	162.048 "
	4	B R M	G. ヒル	2' 04.4" 4" 2	161.351 "
	5	ブラバム	D. ハルム	1 周 遅れ	
	6	ホンダ	R. ギンサー	1 周 遅れ	
	BL	ロータス	J. クラーク	1' 30" 6	166.608 "

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
⑦ ドイツ GP					8月 1日
ニュールブルックリンク					
ホンダ出場せず					
⑧ イタリア GP					
モンツァ					9月12日
F-1	1	B R M	J. スチュワート	2° 04' 52" 8	209.961 km/h
	2	B R M	G. ヒル	2° 04' 56" 1	
	3	ブ ラ バ ム	D. ガーニー	2° 05' 09" 3	
	4	フェラーリ	L. バンディーニ	2° 06' 08" 7	
	5	クーパー	B. マクラレン	1 周 遅 れ	
	6	ロータス	R. アットウッド	1 周 遅 れ	
		ホンダ	R. ギンサー		No-20
		ホンダ	R. バックナム	61 周でリタイヤ	No-22
⑨ アメリカ GP					1 周 3.7 km (110 周) 407.077 km
ワトキンズ・グレン					10月 日
F-1	1	B R M	G. ヒル	2° 20' 36" 1	173.74 km/h
	2	ブ ラ バ ム	D. ガーニー	2° 20' 48" 6	173.45 "
	3	フェラーリ	J. ブラバム	2° 21' 33" 6	172.53 "
	4	フェラーリ	L. バンディーニ	1 周 遅 れ	
	5	フェラーリ	P. ロドリゲス	1 周 遅 れ	
	6	クーパー	J. リント	2 周 遅 れ	
	7	ホンダ	R. ギンサー	2 周 遅 れ	No-11
⑩ メキシコ GP					1 周 5.12 km (65 周) 335 km
メキシコ・シティ					10月24日
F-1	1	ホンダ	R. ギンサー	2° 08' 32" 10	151.70 km/h
	2	ブ ラ バ ム	D. ガーニー	2° 08' 34" 99	151.64 "
	3	ロータス	M. スペンス	2° 09' 32" 25	150.42 "
	4	ブ ラ バ ム	J. シフェール	2° 10' 26" 52	149.50 "
	5	ホンダ	R. バックナム	1 周 遅 れ	
	6	ロータス	R. アットウッド	1 周 遅 れ	

1965年度 世界チャンピオンシップ

クラス別	順位	メーカ	ドライバー
F 1	1	ロータス	J. クラーク (ローカス)
	2	B R M	G. ヒル (BRM)
	3	ブラバム	J. スチュアート (BRM)
	4	フェラーリ	D. ガーニー (ブラバム)
	5	クーバー	J. サーフィーズ (フェラーリ)
	6	ホンダ	L. バンディニーニ (フェラーリ)
	7		R. ギンサー (ホンダ)
	16		R. バックナム (ホンダ)

F - 2

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
① シルバーストン					3月20日
(中止)					
② オルトンパーク					4月3日
ホンダ出場せず					
③ スネッタートン					1周4.631km(50周) 218.08km 4月10日
F-2	1	ブラバム・BRM	G.ヒル	1°20'54" 2	161.725km/h
	2	ブラバム・コスワース	M.ベクウィズ	1°21'42" 4	160.2 "
	3	ロータス	J.クラーク	1°21'53" 0	160.0 "
	4	ローラ・コスワース	R.アットウッド	1°22'21" 2	
	5	ブラバム・コスワース	A.リース	1°22'49" 0	
	6	ブラバム・コスワース	J.シュレッサー	1 周 遅れ	
	9	ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	3 周 遅れ	
	BL	ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	1'34" 6	166.0 "
④ ポー					1周2.760km(8.0周) 220.800km 4月25日
F-2	1	ロータス・コスワース	J.クラーク	2°23'24" 4	92.378km/h
	2	ローラ・RBM	R.アットウッド	1 周 遅れ	
	3	ブラバム・コスワース	J.リント	1 周 遅れ	
	4	ローラ・コスワース	T.マックス	2 周 遅れ	
	5	クーバー・RBM	J.ステュアート	2 周 遅れ	
	6	ブラバム・フォード	J.シュレッサー	2 周 遅れ	
		ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	14 周でリタイア	

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
(5) オルトンパーク					9月18日
ホンダ出場せず					
(6) アルビGP					1周3.636km(85周)309.072km 9/26
F 2	1	ロータス.コスワース	J.クラーク	1' 55' 17" 6	160.845 km/h
	2	ホンダ.ブラバム	J.ブラバム	1' 55' 18" 2	160.831 "
	3	レプコ.ブラバム	D.ハルム	1' 55' 40" 6	160.312 "
	4	ブラバム.コスワース	J.リント	1' 56' 08" 7	159.665 "
	5	ブラバム.コスワース	A.リース	1 周 遅 れ	
	6	ロータス.コスワース	M.スペンス	1 周 遅 れ	
	BL	ホンダ.ブラバム	J.ブラバム	1' 19" 7	164.242 "

1966 年度

F - 1

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
(1) 南アフリカ G P					
					1月 1日
		ホンダ	出場せず		
(2) モナコ G P					
		モンテ・カルロ			5月 2日
		ホンダ	出場せず		
(3) ベルギー G P					
		フランコルシャン			6月 12日
		ホンダ	出場せず		
(4) フランス G P					
		ライム			7月 3日
		ホンダ	出場せず		
(5) イギリス G P					
		ブランズハッチ			7月 16日
		ホンダ	出場せず		
(6) オランダ G P					
		ザンドボード			7月 24日
		ホンダ	出場せず		
(7) ドイツ G P					
		ニュールブルックリンク			8月 7日
		ホンダ	出場せず		

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
(R) イタリアGP		1周5.75km(68周)391km			
		モンツァ 9月4日			
F-1	1	フェラーリ	L.スカルフィオッチ	1°47'14"4	218.748km/h
	2	フェラーリ	M.パークス	1°47'20"6	
	3	レブコ・ブラバム	D.ハルム	1°47'20"9	
	4	クーバー・マセラティ	J.リント	1°47'46"3	
	5	ロータス・BRM	M.スペンス	1周遅れ	
	6	ブラバム・クライマックス	B.アンダーソン	2周遅れ	
		ホンダ	R.ギンサー	18周でリタイア	No-18
	BL	フェラーリ	L.スカルフィオッチ	1'32"4	224.025km/h
(9) アメリカGP		1周3.7km(108周)399km			
		ワトキンズ・グレン 10月1~2日			
F-1	1	ロータス・BRM	J.クラーク	2°09'08"	185.00km/h(新記録)
	2	クーバー・マセラティ	J.リント		
	3	クーバー・マセラティ	J.サーフィーズ	1周遅れ	
	4	クーバー・マセラティ	J.ミフェール		
	5	マクラレン・フォード	B.マクラレン		
		ホンダ	R.ギンサー	81周でリタイア	No-12
		ホンダ	R.バックナム	59周でリタイア	No-14
(10) メキシコGP		1周5.12km(65周)335km			
		メキシコ・シテイ 10月23日			
F-1	1	クーバー・マセラティ	J.サーフィーズ	2°06'35"34	154.042km/h
	2	ブラバム・レブコ	J.ブラバム	2°06'43"22	153.882
	3	ブラバム・レブコ	D.ハルム	1周遅れ	
	4	ホンダ	R.ギンサー	1周遅れ	No-12
	5	アメリカン・イーグル	D.ガーニー	1周遅れ	
	6	クーバー・マセラティ	J.ボニエ	2周遅れ	
	7	ホンダ	R.バックナム	5周遅れ	No-14
	★	ホンダ	R.ギンサー	1'53"75	

BL

F - 2

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
① オルトン パーク					
					4月2日
ホンダ出場せず					
② グッド ウッド (イギリス)					
1周3.86km(42周)161.21km					4月11日
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	58' 50" 2	165.429km/h
	2	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	58' 50" 6	
	3	ブラバム・コスワース	J. リント	59' 29" 2	
	4	ブラバム・コスワース	A. リース	59' 30" 2	
	5	マトラ・BRM	G. ヒル	59' 56" 6	
	6	マトラ・BRM	J. ステュアート	1 周 遅れ	
	BL	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	1' 21" 8	169.16 km/h
③ ポーランド (フランス)					
1周2.76km(80周)220.8km					4月17日
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	1° 59' 14" 1	111.108km/h
	2	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	1° 59' 14" 6	
	3	ブラバム・BRM	G. ヒル	2° 00' 44" 8	
	4	マトラ・コスワース	J. ステュアート	1 周 遅れ	
	5	ブラバム・コスワース	A. リース	1 周 遅れ	
	6	ロータス・コスワース	J. クラーク	2 周 遅れ	
	BL	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	1' 26" 3	115.133km/h
	BL	ロータス・コスワース	J. クラーク	1' 26" 3	115.133 "
④ バルセロナ (スペイン)					
1周3.79km(60周)227.4km					4月24日
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	2° 08' 49" 55	105.928km/h
	2	クーバー・BRM	J. ステュアート	2° 09' 35" 09	103.308 "
	3	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	2° 10' 10" 46	1 周 遅れ
	4	ローラ・コスワース	R. アットウッド	2 周 遅れ	
	5	ブラバム	M. ベックワイト	3 周 遅れ	
	6	ブラバム・BRM	G. ヒル	4 周 遅れ	

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
(5) ゾルダ - ハルギー 1周4.184km(18周) 200.83km 5月8日					
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J. ブムバム	1°18' 57" 6	152.583km/h
	2	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	1°19' 04" 7	152.547 "
	3	ブラバム・コスワース	J. リント	1°19' 30" 8	152.233 "
	4	ブラバム・コスワース	K. アーレン	1°20' 17" 5	
	5	ブラバム・コスワース	A. リース	1°20' 30" 0	
	6	ロータス・コスワース	P. アランデル	1°21' 33" 0	
	BL	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	1' 36" 8	155.603km/h(新記録)
(6) クリスタル パレス ギリス 1周2.24km(60周) 134.4km 5月30日					
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	56' 27" 6	141.548km/h
	2	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	56' 28" 2	
	3	ブラバム・コスワース	A. リース	57' 17" 2	
	4	ブラバム・コスワース	J. リント	57' 20" 6	
	5	ローラ・コスワース	F. ガードナー	57' 36" 2	
	6	クーバー・BRM	E. オップエンズタット	1 周 遅 れ	
(7) ライム REIMS 7512 1周8.301km(37周) 307.165km 7月2日					
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	1°33' 32" 4	197.026km/h
	2	ブラバム・コスワース	A. リース	1°33' 41" 3	
	3	マトラ・BRM	J. P. ベルトワース	1°33' 49" 0	
	4	ロータス・コスワース	M. スペンズ	1°33' 50" 5	
	5	ローラ・コスワース	R. アットウッド	1°33' 50" 7	
	6	ロータス・コスワース	P. アランデル	1°35' 37" 1	
		ホンダ・ブラバム	D. ハルム	14 周でリタイヤ	
	BL	マトラ・BRM	J. イクス	2' 27" 6	202.481km/h

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
(8) ルーアン フランス				1周6.542km(16周)300.932km	7月10日
F-2	1	ホンダ・ブラバム	D.ハルム	1°46'33" 5	169.164km/h(新記録)
	2	ブラバム・コスワース	A.リース	1°46'58" 7	
	3	ロータス・コスワース	P.ロドリゲス	1°47'54" 0	
	4	ブラバム・コスワース	K.アーレン	1°48'41" 4	
	5	マトラ・BRM	G.ヒル	1°48'46" 3	
	6	ロータス・コスワース	T.プロクタイク	1周遅れ	
		ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	41周でリタイア	
	BL	ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	2'14" 6	174.971km/h(新記録)
(9) カノン (キャノン) スエーデン				1周3km(30周)90km	8月21日
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	42'27" 2	127.198km/h
	2	ホンダ・ブラバム	D.ハルム	42'28" 4	
	3	ロータス・コスワース	J.クラーク	42'37" 0	
	4	ブラバム・コスワース	T.ナイラー	43'15" 4	
	5	ブラバム・コスワース	K.アーレンス	43'23" 6	
	6	ロータス・コスワース	P.アランディール	43'30" 1	
	BL	ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	1'22" 4	131.068km/h(新記録)
(10) モンテリイ イギリス				1周12.5km(21周)262.5km	9月11日
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	1°35'12" 5	162.231km/h
	2	ロータス・コスワース	J.クラーク	1°35'15" 8	
	3	ホンダ・ブラバム	D.ハルム	1°35'17" 9	
	4	マトラ・コスワース	J.スチュアート	1°37'35" 1	
	5	ロータス・コスワース	F.オフエンスタット	1°38'00" 7	
	6	マトラ・コスワース	J.ベルトワーズ	1周遅れ	
	BL	ホンダ・ブラバム	J.ブラバム	2'50" 7	164.517km/h

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
⑪ ルマン					
				1周4.422km(60周)	265.47km
				9月18日	
F-2	1	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	1°47'27"8	148.219km/h
	2	マトラ・コスワース	J. P. ベルトワーズ	1°48'19"8	147.034 "
	3	ロータス・コスワース	E. オッフエンスタット	1 周 遅 れ	
	4	マトラ・コスワース	J. ステュアート	1 周 遅 れ	
	5	ローラ・コスワース	R. アットウッド	2 周 遅 れ	
	6	ロータス・コスワース	J. クラーク	5 周 遅 れ	
		ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	6周でリタイア	
	BL	ホンダ・ブラバム	D. ハルム	1'45"0	151.611km/h
⑫ アルビ					
				1周3.636km(85周)	309.073km
				9月25日	
F-2	1	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	1°54'32"2	161.907km/h(新記録)
	2	マトラ・コスワース	J. シュレッサー	1°55'04"1	
	3	ホンダ・ブラバム	C. アーウィン	1°55'04"3	
	4	マトラ・BRM	J. イクス	1 周 遅 れ	
	5	ローラ・コスワース	F. ガードナー	1 周 遅 れ	
	6	ローラ・コスワース	R. アットウッド	2 周 遅 れ	
	BL	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	1'19"3	165.07km/h(新記録)
⑬ ブランズハッチ					
				1周4.2km(40周)	168.0km
				10月30日	
F-2	1	ブラバム・コスワース	J. リント	1°05'05"1	157.23km/h(新記録)
	2	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム	1°05'05"8	
	3	ロータス・コスワース	J. クラーク	1°05'09"8	
	4	マトラ・BRM	J. イクス	1°06'02"4	
	5	マトラ・コスワース	J. P. ベルトワーズ	1°06'14"4	
	6	マトラ・コスワース	J. シュレッサー	1°06'18"0	
		ホンダ・ブラバム	C. アーウィン	リタイア	
	BL	ホンダ・ブラバム	J. ブラバム		159.97km/h(新記録)

1967年度

F-1

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
① 南アフリカGP					
1周409.6km(80周) 325.6km					
キャラミ 1月2日					
No-11 F-1	1	クーバー・マセラティ	P.ロドリゲス	2°05'45" 9	156.323km/h
	2	クーバー・クライマックス	J.ロブ	2°06'12" 3	155.777 "
	3	ホンダ	J.サーティーズ	1周遅れ	154.080 "
	4	ブラバム・レブコ	D.ハルム	2周遅れ	
	5	ブラバム・クライマックス	R.アンダーソン	2周遅れ	
	6	ブラバム・レブコ	J.ブラバム	4周遅れ	
	BL	ブラバム・レブコ	D.ハルム	1'29" 9	164.011km/h
② モナコGP					
1周314.5km(100周) 314.5km					
モンテ・カルロ 5月7日					
No-7 F-1	1	ブラバム・レブコ	D.ハルム	2°34'34" 3	122.143km/h
	2	ロータス	G.ヒル	1周遅れ	
	3	フェラーリ	C.エイモン	2周遅れ	
	4	M4B	B.マクラレン	3周遅れ	
	5	クーバー・マセラティ	P.ロドリゲス	4周遅れ	
	6	BRM	M.スペンス	4周遅れ	
		ホンダ	J.サーティーズ	33周でリタイア	
	BL	ロータス・フォード	J.クラーク	1'29" 5	126.491km/h
③ オランダGP					
1周419.3km(90周) 377.4km					
ザンドボード 6月4日					
No-7 F-1	1	ロータス・フォード	J.クラーク	2°14'45" 1	168.087km/h
	2	ブラバム・レブコ	J.ブラバム	2°15'08" 7	167.540 "
	3	ブラバム・レブコ	D.ハルム	2°15'10" 8	167.497 "
	4	フェラーリ	C.エイモン	2°15'12" 4	165.422 "
	5	フェラーリ	M.パークス	1周遅れ	
	6	フェラーリ	L.マクウィリアン	1周遅れ	
		ホンダ	J.サーティーズ	75周でリタイア	
	BL	ロータス・フォード	J.クラーク	1'28" 08	171.375km/h

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
④ ベルギー GP フランコルジャン 6月18日					
F-1 No. 7	1	イーグル	D. ガーニー	1° 40' 49" 4	234.945 km/h
	2	B R M	J. スチュワート	1° 41' 52" 4	232.524 #
	3	フェラーリ	C. エイモン	1° 42' 29" 4	231.124 #
	4	クーペー・マセラティ	J. リント	1° 43' 03" 4	
	5	B R M	M. スペンス	1 周 遅れ	
	6	ロータス・フォード	J. クラーク	1 周 遅れ	
	BL	ホンダ	J. サーティーズ		
⑤ フランス GP 7月2日 ホンダ出場せず					
⑥ イギリス GP シルバーストーン 7月15日					
F-1 No. 7	1	ロータス・フォード	J. クラーク	1° 59' 25" 6	189.28 km/h
	2	ブラバム・レブコ	D. ハルム	1° 59' 38" 4	
	3	フェラーリ	C. エイモン	1° 59' 42" 2	
	4	ブラバム・レブコ	J. ブラバム	1° 59' 47" 4	
	5	クーペー・マセラティ	P. ロドリゲス	1 周 遅れ	
	6	ホンダ	J. サーティーズ	2° 00' 62" 2	2 周 遅れ
	BL	ブラバム・レブコ	D. ハルム	1' 27" 0	194.88 km/h
⑦ 西ドイツ GP ニュールブルックリング 8月26日					
F-1	1	ブラバム・レブコ	D. ハルム	2° 05' 55" 7	163.299 km/h
	2	ブラバム・レブコ	J. ブラバム	2° 06' 34" 2	
	3	フェラーリ	C. エイモン	2° 06' 34" 7	
	4	ホンダ	J. サーティーズ	2° 08' 21" 4	No. 2
	5	クーペー・マセラティ	J. ボニエ	2° 14' 37" 8	
	6	ブラバム・レブコ	B. リジェ	1 周 遅れ	
	BL	イーグル・ウェスレーク	D. ガーニー	8' 15" 1	165.996 km/h

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速
(8) カナダ G P		1周 3.943 km (90周) 354.8 km 8月26日			
ホンダ出場せず					
(9) イタリア G P		1周 5.75 km (68周) 391 km モンツァ 9月10日			
F-1 No-14	1	ホンダ	J.サーティーズ	1°43'45"	226.119 km/h
	2	ブラバム・レブコ	J.ブラバム	1°43'45" 2	
	3	ロータス・フォード	J.クラーク	1°44'08" 1	
	4	クーバー・マセラティ	J.リント	1°44'41" 6	
	5	B R M	M.スペンス	1 周遅れ	
	6	クーバー・マセラティ	J.イクス	2 周遅れ	
	BL	ロータス・フォード	J.クラーク	1'28" 5	233.898 km/h
(10) アメリカ G P		1周 3.7 km (108周) 339.6 km ワトキンズ・グレン 10月1日			
F-1 No-3	1	ロータス・フォード	J.クラーク	2°03'13" 2	194.65 km/h
	2	ロータス・フォード	G.ヒル	2°03'19" 5	194.49 "
	3	ブラバム・レブコ	D.リルム	1 周遅れ	
	4	クーバー・マセラティ	J.シファート	2 周遅れ	
	5	ブラバム・レブコ	J.ブラバム	4 周遅れ	
	6	クーバー・マセラティ	J.ボニエ	7 周遅れ	
	8	ホンダ	J.サーティーズ	96周でリタイヤ(完走)	
	BL	ロータス・フォード	G.ヒル	1'06" 0	201.90 km/h
(11) メキシコ G P		メキシコ・シナイ 10月22日			
F-1	1	ロータス・フォード	J.クラーク	1°59'28" 70	163.22 km/h
	2	ブラバム・レブコ	J.ブラバム	2°01'54" 06	
	3	ブラバム・レブコ	D.リルム	1 周遅れ	
	4	ホンダ	J.サーティーズ	1 周遅れ	No-3
	5	B R M	M.スペンス	2 周遅れ	
	6	クーバー・マセラティ	P.ロドリゲス	2 周遅れ	
	BL	ロータス・フォード	J.クラーク	1'48" 16	166.466 km/h

1967年度世界チャンピオンシップ

クラス別	順 . 位	メーカ	ドライバ
F-1	1	ブラバム・レブコ	D. ハルム(ブラバム・レブコ)
	2	ロータス・フォード	J. ブラバム(ブラバム・レブコ)
	3	クーバー・マセラティ	J. グラーク(ロータス・フォード)
	4	ホンダ	J. サーティーズ(ホンダ)
	5	フェラーリ	C. エイモン(フェラーリ)
	6	B R M	P. ロドリゲス(クーバー・マセラティ)
	7	イーグル	

1968年度

F-1

クラス別	着順	メーカー	ドライバー	タイム	平均時速
① 南アフリカ GP					
1周4.096km(80周) 325.6km					
キャラミ 1月1日					
F-1	1	ロータス・フォード	J. クラーク	1°53'56"6	172.87km/h
	2	ロータス・フォード	G. ヒル	1°54'21"9	172.24 "
	3	ブラバム・レブコ	J. リント	1°54'27"	172.12 "
	4	フェラーリ	C. エイモン	2 周遅れ	167.67 "
	5	マクラレン BRM	D. ハルム	2 周遅れ	
	6	マトラ	J. P. ベルトワーズ	3 周遅れ	
	7	クーバー マセラティ	J. シェファード	3 周遅れ	
	8	ホンダ	J. サーティーズ	5 周遅れ	161.7km/h
	9	ブラバム・レブコ	J. ロブ	6 周遅れ	
	BL	ロータス・フォード	J. クラーク		
② スペイン GP					
1周3.4km(90周) 306km					
ハラマ 5月12日					
F-1	1	ロータス	G. ヒル	2°15'20"1	135.842km/h
	2	マクラレン・フォード	D. ハルム	2°15'36"1	135.572 "
	3	クーバー・BRM	B. レッドマン	1 周遅れ	
	4	クーバー・BRM	L. スカルカイオッティ	1 周遅れ	
	5	マトラ	J. P. ベルトワーズ	9 周遅れ	
	BL	マトラ	J. P. ベルトワーズ	1'28"2	138.796km/h

追 補

レース関係資料(1968)

< 諸 元 表 >

F - 1 1968年度出場車

エ ン ジ ン		フ レ ー ム	
機 種 名	RA301	機 種 名	
エンジン型式	90° V型 12気筒	オイルベース	2410mm
内径×行程	78×52.2mm	トレッド(フロント)	1440mm
総排気量	2992 CC	" (リヤ)	1400mm
点火方式	ホンダ式トランジスター点火	全 長	3720mm
圧 縮 比	11.5	全 高	802mm (ウイング含まず)
潤滑方式	ドライサンプ	全 巾	1781mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	89mm
バルブ型式	DOHC 4バルブ方式	ボディー型式	モノコック構造
気 化 器	ホンダ式 低圧吸入管定時噴射装置	タイヤ(前)	9.5-13in(ファイヤーストン)
燃料ポンプ	電 動 式	" (後)	14.0-13.0in(")
冷却方式	水 冷	燃料タンク	200ℓ
変 速 機	ホンダ製 常時噛合前進5段後進1段	使用燃料	シエル
最 高 出 力	450PS以上	ブレーキ方式	ガーリングディスクブレーキ
最 高 速 度	360km/h以上	懸架方式	前後ともダブルウィッシュボーン
重 量 (乾燥)		車 輛 重 量	530kg(水・オイルを含む)

特 徴

エンジン、車体ともまったくの新設計によるもので、現在(1968年)世界中の3000CCエンジンの中で最大の出力を発揮し、高いトルク特性をもっております。

F-1 1968年度出場車

エ ン ジ ン		フ レ ー ム	
機 種 名	RA302	機 種 名	
エンジン型式	120° V型 8気筒	オイルベース	2,360mm
内径×行程	88°×61.4mm	トレッド(フロント)	1,500mm
総排気量	2,987.5CC	# (リヤ)	1,415mm
点火方式	トランジスター点火方式	全 長	3,780mm
圧 縮 比	11.5 : 1	全 高	816mm (ウィング含まず)
潤滑方式	ドライサンプ	全 巾	1,796mm
クラッチ型式	乾式多板	最低地上高	85mm
バルブ型式	DHOC 4バルブ方式	ボディー型式	モノコック構造
気 化 器	ホンダ式 低圧吸入管定時噴射装置	タイヤ(前)	9.00×15in(ファイアストーン)
燃料ポンプ	電 動 式	" (後)	14.00×15in(")
冷 却 方 式	空 冷	燃料タンク	200ℓ
変 速 機	ホンダ製 常時噛合前進5段後進1段	使用燃料	シエル
最 高 出 力	430PS以上	ブレーキ方式	ガーリングディスクブレーキ
最 高 速 度	360km/h以上	懸架方式	前後ともダブルウィッシュボーン
重 量 (乾燥)		車 輛 重 量	500kg(オイルを含む)

特 徴

独特の空冷、V型8気筒エンジンを採用。徹底的な軽量化とともに重心をグンと低くしました。しかもF-1では最大の出力と高いトルク特性をもっています。

車体はユニークな冷却風通路を兼ねそなえたモノコック構造で、軽量、かつ空力的に十分な考慮が払われています。

フラスGP 焼上

1回きり

< レース記録 >

1968年度

F-1

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速	周回数
① 南アフリカ GP						
1周 4.088km(80周) 32.704Km						
キャラミ 1月 1日						
F-1	1	ロータス・フォード	J・クラーク	1'53'56"6	172.87Km/h	80
	2	ロータス・フォード	G・ヒル	1'54'21"9	172.24 "	80
	3	ブラバム・レブコ	J・リント	1'54'27"0	172.11 "	80
	4	フェーラーリ	C・エイモン	1'54'32"2	167.68 "	78
	5	マクラーレン B R M	D・ハルム	1'54'45"6	167.35 "	78
	6	マ ト ラ	J.P.ベルトワーズ	1'55'06"9	164.70 "	77
	7	クーパー・マセラティ	J・シェファード			77
	8	ホンダ	J・サーティーズ	1'54'12"2	161.707 Km/h	75
	9	ブラバム・レブコ	J・ロブ			74
	BL	ロータス・フォード	J・クラーク	1'23"7	176.51Km/h	

気温35℃、コース上54℃の高温のため各車オーバーヒートに悩まされ、リタイヤ続出した
出走24台 完走9台

クラス別	着 順	メ ー カ ー	ド ラ イ バ ー	タ イ ム	平 均 時 速	周 回 数
② スペイン GP						
				1周 3.435Km 90周 306.4Km		
ハラマ				5月12日		
F-1	1	ロータス・フォード	G・ヒル	2'15" 20" 1	135.842Km/h	90
	2	マクラーレン・フォード	D・ハルム	2'15" 36" 1	135.572 "	90
	3	クーバー・BRM	B・レッドマン	2'16" 03" 6		89
	4	クーバー・BRM	L・スカルカヴィツィ	2'16" 03" 9		89
	5	マトラ・フォード	J・P・ベルトワーズ	2'16" 36" 9		81
	BL	マトラ・フォード	J・P・ベルトワーズ	1' 28" 2	138.796Km/h	

出走13台中完走5台という過酷なレースで、J・サーティーズの操縦するホンダF-1は、7.5周目、2位のD・ハルム（マクラーレン）との差を縮めつつあった時に惜しくもリタイヤした。原因はギヤ・ボックスのトラブル

クラス別	着 順	メ ー カ ー	ド ラ イ バ ー	タ イ ム	平 均 時 速	周 回 数
③ モナコ GP						
				1周 3.138Km 80周 251.04Km		
モンテカルロ				5月26日		
F-1	1	ロータス・フォード	G・ヒル	2'00" 32" 3	125.238Km/h	80
	2	B R M	R・アットウッド	2'00" 34" 5	125.02 "	80
	3	クーバー・BRM	L・ピアンキ			76
	4	クーバー・BRM	L・スカルカヴィツィ			76
	5	マクラーレン・フォード	D・ハルム			73
	BL	B R M	R・アットウッド	1' 28" 1	128.513Km/h	

本年度F-1世界選手権の第三戦モナコGPは、5月26日モンテカルロで行なわれ、ホンダのJ・サーティーズは17周目ギヤ・ボックスのトラブルのため惜しくもリタイヤした。

このコースは、モンテカルロの市街路を閉鎖して行なわれ、曲りくねって上り下りの激しい世界の難コース中の一つで、16台でスタートしながら、D・ガーニー、J・リント、J・P・ベルトワーズなども次々にリタイヤし、20周目には5台しか残っていないという過酷なレースだった。

クラス別	着 順	メーカ ー	ドライバ ー	タ イ ム	平 均 時 速	周回数
④ ベルギー GP 1 周 14.12km 28周 395.36km スバ・フランコルシヤン 6 月 9 日						
F-1	1	マクラレン・フォード	B マクラレン	1'40"02"10	235.42 km/h	28
	2	B R M	P.ロドリゲス	1'40"14"2		28
	3	フェラーリ	J.イクス	1'40"41"7		28
	4	マトラ・フォード	J.スチュアート			27
	5	ロータス・フォード	J.オリバー			26
	6	クーバー・BRM	L.ピアンキ			26
	BL	ホンダ	J.サーティーズ	3'30"5	241.140 km/h	

レースは1周14.1kmのコースを28周する。ホンダのジョン・サーティーズは2周目早くもトップに立ち、3分30秒5のラップレコード（新記録）を樹立して快調に走り、10周が終った時には2位のD・ハルムに19秒の大差をつけて独走していた。ホンダの楽勝がほとんど決ったかのようにみえていたが、11周目ピットイン、そのままリタイヤして惜しくも入賞を逸した。原因はリヤ・サスペンションのトラブル。出走18台。完走7台。

このコースでの過去最高記録は昨年ダン・ガーニー（イーグル）による3分31秒9、平均239.547で、ホンダのラップレコードは1秒余も縮める新記録でした。

クラス別	着 順	メ ー カ ー	ドライバ ー	タ イ ム	平均時速	周回数
⑤ オランダ G P				1周 4.193 km	90周 377.37 km	
ザンドボード				6月23日		
F-1	1	マトラ・フォード	J. スチュアート	2° 46' 11" 26	136.245 km/h	
	2	マ ト ラ	J.P.ベルトワーズ	2° 47' 45" 19		
	3	B R M	P. ロドリゲス	2° 47' 43" 36		89
	4	フェラーリ	J. イクス	2° 47' 50" 59		88
	5	ブラバム・レブコ	S. モーザー	2° 47' 51" 49		87
	6	フェラーリ	C. エモン	2° 46' 20" 78		85
	BL	マ ト ラ	J.P.ベルトワーズ	1' 45" 91		

この日、海岸に近いコースは集中豪雨的な雨で、各車ともタイヤの選定とマシンのトラブルに悩まされた。

ホンダのJ. サーティーズは、プラクティスの結果10位でスタート、終始11位～12位を走行していたが、51周目、操縦性が不安定になりリタイヤした。

最悪のコンディションでのレースだったため、優勝したJ. スチュアートのタイムも1953年以来最低の記録で、ベストラップも20秒余も遅いという苦しいレースだった。

出走19台 完走9台。

クラス別	着 順	メ ー カ ー	ドライバー	タ イ ム	平均時速	周回数
⑥ フランス G P				1 周 6.54 km	6 0 周 390.520 km	
ル ー アン				7 月 7 日		
F-1	1	フェラーリ	J. イクス	2° 25' 40" 9	161.662 km/h	60
	2	ホンダ	J. サーティーズ	2° 27' 39" 5	159.497 "	60
	3	マトラ	J. スチュアート			59
	4	クーバー・BRM	V. エルフォード			58
	5	マクラーレン・フォード	D. ハルム			58
	6	B R M	P. カレッジ			57
	BL	B R M	P. ロドリゲス	2' 11" 5	179.096 km/h	

1968年度F-1世界選手権第6戦フランスGPは、7月7日雨の降る最悪のコンディションの中、ルーアン・サーキットで行なわれた。ホンダRA301に乗るJ. サーティーズ（イギリス人）はプラクティスの結果7位でスタート、10周目既に3位に進出、その後快調な走行を続けた。しかし、前を走るP. ロドリゲスから飛んだ物体によりゴーグルを壊しビットイン、新しいゴーグルで再スタートし、惜しくも優勝は逸したが、J. イクスのフェラーリに次いで堂々2位でゴールインした。

一方、RA302に乗るJ. シュレッサー（フランス人）は、2周目下り第1コーナーでコントロールを失い、転覆炎上、不幸にして死亡するという事態が発生いたしました。故人並びにその遺族に対し深く哀悼の意を表します。出走17台。

※ J. シュレッサー（JO SCHLESSER）

1928年生フランス人。

1967年ボルシェと契約、1968年はF-2レース他ボルシェで活躍、スパ

1,000kmで2位。

クラス別	着 順	メ ー カ ー	ド ラ イ バ ー	タ イ ム	平 均 時 速	周回数
⑦ イギリス GP						
1周4.265km 80周 341.2km						
ブランズハッチ 7月20日						
F-1	1	ロータス・フォード	J. シファート	2°01'20"3	168.70km/h	80
	2	フェラーリ	C. エモン	2°01'24"7	168.60 "	80
	3	フェラーリ	J. イクス			79
	4	マクラーレン・フォード	D. フルム			79
	5	ホンダ	J. サーティーズ			78
	6	マトラ・フォード	J. スチュアート			78
	BL	ロータス・フォード	J. シファート	1'29"7	171.160km/h	

ホンダのJ・サーティーズは、前日までのブライティスの結果9位でスタートし、13周目5位に立ち快調に追いつけていった。後半、車体後部に新たに取りつけたエア・スタビライザー（抵抗翼）が落ちたが、J・サーティーズはそのまま操縦を続け5位でゴールインした。出走20台完走9台。

クラス別	着 順	メ ー カ ー	ド ラ イ バ ー	タ イ ム	平 均 時 速	周回数
⑧ ドイツ GP						
1周2.28km 14周 319.2km						
ニュルブルクリンク 8月4日						
F-1	1	マトラ・フォード	J. スチュアート	2°19'03"2	139.8 km/h	14
	2	ロータス・フォード	G. ヒル	2°23'06"4	133.1 "	14
	3	ブラバム・レブコ	J. リント	2°23'12"6	133.0 "	14
	4	フェラーリ	J. イクス	2°24'58"4		14
	5	ブラバム・レブコ	J. ブラバム	2°25'24"3		14
	6	B R M	P. ロドリゲス	2°25'28"2		14
	BL	マトラ・フォード	J. スチュアート	9'38"0	142.4 km/h	

ドイツGPは8月4日、雨と霧の最悪のコンディションの中で行なわれ、ホンダRA301（J・サーティーズ）は冷却システムのトラブルにより3周でリタイヤした。出走20台完走14台。

クラス別	着 順	メ ー カ ー	ドライバ ー	タ イ ム	平 均 時 速	周回数
⑨ イタリア G P				1 周 5.75 km	6 8 周 391 km	
モンツァ				9 月 8 日		
F-1	1	マクラレン・フォード	D. ハルム	1°40'14"8	234.022km/h	68
	2	マトラ・フォード	J. S. キャビン	1°41'43"2		68
	3	フェラーリ	J. イクス	1°41'43"4		68
	4	B R M	P. カレッジ			67
	5	マ ト ラ	J.P. ベルトワーズ			66
	6	マクラレン BRM	J. ボニエ			64
	BL	ロータス・フォード	J. オリバー	1'26"5		

ホンダRA301(水冷)を操縦するジョン・サーティーズ(英国人)は、前日までのブラクティスで1分26秒1のラップレコードを出し1位でスタート、1位〜3位の間を余裕をみせながら走っていたが、7周目、直前を走るフェラーリ(クリス・エイモン)がオイルに乗りスリップ、ガードレールに衝突し、サーティーズはこれを避けきれずに接触、不測の事故にリタイヤを余儀なくされた。

同じくホンダRA301(水冷)を操縦するデビット・ホブbs(英国人)は、終始慎重に走り続けたが、42周目エンジン・トラブルによりリタイヤした。

※、デビット・ホブbs(DAVID HOBBS)

1939年6月9日英国生れ。

20才頃からレースを始め、現在ジョン・サーティーズとともにローラ・スポーツカー・チームに所属。このイタリアGPでホンダF-1を操縦した新進ドライバー。

クラス別	着 順	メ - カ -	ドライバー	タ イ ム	平均時速	周回数
⑩ カナダ G P				1 周 4.265 km	9 0 周 383.85 km	
サン・ジョビツ				9 月 2 2 日		
F - 1	1	マクラレン・フォード	D. ハルム	2°27' 11" 2	156.04 km/h	
	2	マクラレン・フォード	B. マクラレン	1 周おくれ		
	3	B R M	P. ロドリゲス	2 周おくれ		
	4	ロータス・フォード	G. ヒル	4 周おくれ		
	5	クーバー・BRM	V. エルフォード	4 周おくれ		
	6	マトラ・フォード	J. スチュアート	7 周おくれ		
	BL	マトラ・フォード	J. スチュアート	1' 35" 5	160.7 km/h	

F-1 レースは初めてのサン・ジョビツ・サーキット（モントリオールの北130km）で行なわれ、ホンダのJ. サーティーズ（RA301）は、プラクティス7位でスタートしたが、10周目、ミッション・トラブルのためリタイヤした。出走21台 完走7台。

クラス別	着順	メーカ	ドライバー	タイム	平均時速	周回数
⑪ アメリカ G P				1 周 3.7 km 108 周 399.6 km		
ワトキンズグレン				10月6日		
F-1	1	マトラ・フォード	J. スチュワート	1° 59' 20" 29	200.94 km/h	108
	2	ロータス・フォード	G. ヒル	1° 59' 44" 97	200.25 "	108
	3	ホンダ	J. サーティーズ	1° 59' 32" 80	197.62 "	107
	4	マクラーレン・フォード	D. ガーニー	1° 59' 46" 04	197.26 "	107
	5	ロータス・フォード	J. シファート		194.14 "	105
	6	マクラーレン・フォード	B. マクラーレン		189.44 "	103
	BL	マトラ・フォード	J. スチュワート	1' 05" 22	204.32 "	

J. サーティーズはプラクティスの結果9位でスタートしたが、周を重ねるにつれて快調に追い上げ4位に進出、その時、直前を走るD. ガーニーが急激にスピン、あわやイタリアGPの二の舞かと思わせたが、J. サーティーズは巧みにこれを避け3位に上り、93000人の観客をうならせた。

その後33周目D. ガーニーに再び3位を奪われ15秒もの差が開いたが、J. サーティーズのラストスパートは激しく、遂に最終ラップ、D. ガーニーを抜き去り3位でゴールインした。

クラス別	着 順	メ ー カ ー	ドライバ ー	タ イ ム	平均時速	周回数
⑫ メキシコ GP				1 周 4.99 km	6 5 周 324.274 km	
メキシコシティ				11 月 3 日		
F-1	1	ロータス・フォード	G. ヒル	1° 56' 43" 95	167.053 km/h	6 5
	2	マクラレン・フォード	B. マクラレン	1° 58' 03" 27	165.183 "	6 5
	3	ロータス・フォード	J. オリバー	1° 58' 24" 60	164.684 "	6 5
	4	B. R M	P. ロドリゲス	1° 58' 25" 04	164.669 "	6 5
	5	ホンダ	J. ボニエ	1° 57' 44" 95	162.308 "	6 4
	6	ロータス・フォード	J. シファート	1° 57' 58" 26	162.808 "	6 4
	BL					

本年度F-1世界選手権第12戦(最終戦)メキシコGPは、11月3日メキシコシティで行なわれ、ホンダ(RA301)に乗るJ. ボニエは堂々5位に入賞、同じくホンダ(RA301)のJ. サーティースは惜しくも17周でリタイヤした。

※ J. ボニエ (JOAKIM BONNIER)

1930年生 スウェーデン人。

1959年～1965年の間F-1BRMやボルシェに乗り、1966年シヤパラルジ ニュールブルックリンク1.000kmに優勝。現在グランプリ・ドライバーズ・アソシエーションの会長をしているベテラン・ドライバー。

1968年度F-1世界チャンピオンシップ

順位	コンストラクターズ・チャンピオンシップ		順位	ドライバーズ・チャンピオンシップ			
	メーカー	得点		ドライバー	国籍	車名	得点
1	ロータス・フォード	62	1	G.ヒル	イギリス	ロータス・フォード	48
2	マクレン・フォード	51	2	J.スチュアート	イギリス	マトラ・フォード	36
3	マトラ・フォード	45	3	D.ハルム	ニュージーランド	マクレン・フォード	33
4	フェラーリ	32	4	J.イクス	ベルギー	フェラーリ	27
5	B R M	21	5	B.マクダレン	ニュージーランド	マクレン・フォード	22
6	クーパー BRM	16	6	P.ロドリゲス	メキシコ	B R M	18
7	ホンダ	14	7	J.サーティーズ	イギリス	ホンダ	12
	ブラバム	10	7	J.シファート	スイス	ロータス・フォード	12

発 行 1968年11月
本田技研工業株式会社 広報室
東京都中央区八重洲5丁目5番地
電話 272-4411 (大代表)

(この資料に関するお問い合わせは上記広報室へどうぞ)

